

- 問1 室町時代後期、応仁の乱をきっかけに幕府の権威が衰えると、実力で領地を拡大する戦国大名が登場しました。彼らが自らの領国内の武士や民衆を統治し、秩序を維持するために独自に定めた法を何とといいますか。 (2023年 栃木県公立入試 類似)
1. 御成敗式目                      2. 分国法                      3. 公事方御定書                      4. 武家諸法度
- 問2 16世紀半ばにキリスト教が日本に伝えられた当時の社会情勢や、その後の歴史的経緯について述べた文として、最も適切なものはどれか。 (2020年 沖縄県公立入試 類似)
1. フランシスコ・ザビエルによる布教以降、南蛮貿易の利益を求める戦国大名の中には、キリスト教に入信するキリシタン大名が現れた。                      2. 当時の日本は鎖国体制が完成しており、ヨーロッパ諸国のうちイギリス一国とのみ、長崎の出島で貿易を行っていた。                      3. 豊臣秀吉は海外貿易の利益を重視し、バテレン追放令を出した後もキリスト教徒を一貫して手厚く保護し続けた。                      4. 織田信長は仏教勢力との対抗を優先し、キリスト教の布教を厳しく禁じてキリスト教徒を弾圧した。
- 問3 日本の戦国時代に相当する16世紀、ヨーロッパではキリスト教のあり方をめぐって大きな動きがありました。カトリック教会の腐敗を批判し、聖書を信仰のよりどころとする「宗教改革」を始めた人物は誰ですか。 (2023年 栃木県公立入試 類似)
1. ナポレオン                      2. ワシントン                      3. ルター                      4. クビライ・ハン
- 問4 15世紀後半に京都で始まった大規模な戦乱をきっかけに、室町幕府の権威が衰え、下の身分の者が実力で上の身分の者を倒して地位を奪うという社会的な風潮が広まりました。この風潮を漢字3文字で何とといいますか。 (2020年 千葉県公立入試 類似)
1. 下剋上                      2. 徳政令                      3. 惣一揆                      4. 執権政治
- 問5 1549年にフランシスコ・ザビエルが日本に上陸し、キリスト教を伝えた背景には、当時のヨーロッパにおける宗教情勢が深く関わっています。キリスト教が日本に伝えられるに至った直接的な背景を説明したものととして、最も適切なものはどれですか。 (2020年 長野県公立入試 類似)
1. 宗教改革によるカトリック教会の勢力衰退に対し、新たな信者を獲得するためにアジアなど海外への布教が重視された。                      2. 十字軍の遠征が失敗に終わったことで、キリスト教徒がイスラム教勢力に対抗するための同盟国を東アジアに求めた。                      3. ルネサンスの進展によって人間中心の考え方が広まった結果、宗教の枠組みを超えた世界規模の文化交流が推奨された。                      4. ルターが自身の教えを世界に広めるために組織を設立し、その活動の一環として日本が最初の布教先に選ばれた。
- 問6 戦国時代に各地を支配した戦国大名の多くは、「下剋上」という風潮の中で台頭しました。この時代における「下剋上」の説明として、当時の社会状況をふまえた最も適切なものはどれですか。 (2016年 静岡県公立入試 類似)
1. 幕府から任命された守護が、自らの実力を高めて隣国を吸収し、支配権を世襲していった。                      2. 朝廷の権威を背景とした下級武士が、実力行使によって幕府の政治を批判し、地位を向上させた。                      3. 農民たちが宗教的な団結を強めることで、武士の支配を実力で排除して自治を行った。                      4. 下の者が実力で上の者に打ち勝って地位を奪い、新たな領主として領国支配を広げていった。
- 問7 15世紀に発生した応仁の乱以降、室町幕府の権威が衰退したことで、家臣が主君を倒したり、地方の武士が守護大名を追放したりして実権を握る事例が全国で見られるようになりました。このように、実力のある者が上の身分の者の地位を奪う社会的な風潮を何と呼びますか。 (2018年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 尊王攘夷                      2. 一揆                      3. 下剋上                      4. 版籍奉還
- 問8 加賀の一向一揆が、同時期に発生した「土一揆」などの他の社会運動と異なり、守護大名を倒して約100年もの長期にわたる自治を維持できた最大の要因として、最も適切なものはどれですか。 (2026年 高知県公立入試 類似)
1. 守護大名が自ら権限を放棄し、農民たちに土地の所有権と徴税権を全面的に譲渡したから。                      2. 浄土真宗（一向宗）という宗教的な信仰を通じて、農民や地侍が極めて強固に団結していたから。                      3. 惣村と呼ばれる村の自治組織が、室町幕府の将軍から直接的な軍事的支援を受けていたから。                      4. 加賀国においてのみ、鉄砲などの新式兵器を輸入するための自由貿易港が独占的に認められていたから。
- 問9 戦国時代、現在の福井県にあたる北陸地方の要所に位置し、戦国大名の朝倉氏が有力な家臣を城下町へ集住させて築き上げた拠点の名称を選びなさい。 (2022年 熊本県公立入試 類似)
1. 山口                      2. 小田原                      3. 一乗谷                      4. 安土
- 問10 戦国大名が領国内の武士や民衆を統制するために定めた「分国法（分国章程）」に関連する記述として最も適切なものはどれですか。なお、法の中には家臣同士の私的な争いを禁じる「喧嘩両成敗」などの規定が含まれているものとします。 (2018年 秋田県公立入試 類似)
1. 全国の戦国大名が共通のルールを持つことで、大名間の平和を促進するために制定された。                      2. 農民が団結して一揆を起こすことを推奨し、幕府の権威を完全に否定するために制定された。                      3. 朝廷から与えられた公家法をそのまま適用し、京都の文化を地方に広めるために制定された。                      4. 家臣たちが実力で主君をしのぐ下剋上の動きを抑え、領内の秩序を維持するために制定された。
- 問11 日本の戦国時代にあたる16世紀、ドイツのマルティン・ルターが、当時のカトリック教会の腐敗を批判したことから始まったキリスト教の改革運動を何とといいますか。 (2018年 福島県公立入試 類似)
1. ルネサンス                      2. 宗教改革                      3. 産業革命                      4. 十字軍
- 問12 戦国大名が「分国法」を制定した主な背景と目的について説明したものととして、最も適切なものはどれですか。 (2016年 群馬県公立入試 類似)
1. 将軍の命令を全国に徹底させ、守護大名の権限を制限することで幕府の権威を取り戻すため。                      2. 海外との貿易を独占し、キリスト教の布教を認めることで南蛮文化を取り入れるため。                      3. 領内の武士や農民の行動を統制し、領国を一つのまとまった組織として安定させ、他勢力との戦いに備えるため。                      4. 朝廷から与えられた守護としての特権を誇示し、伝統的な荘園領主の権利を保護するため。
- 問13 室町幕府の権威が衰退した戦国時代、各地で実力を持った戦国大名が登場しました。彼らが幕府の法律に頼らず、自らの領国を独自に支配し、家臣や民衆を統制するために制定した法律を何とといいますか。 (2022年 和歌山県公立入試 類似)
1. 分国法                      2. 公事方御定書                      3. 武家諸法度                      4. 御成敗式目
- 問14 鉄砲の伝来がその後の日本の戦い方や社会に与えた影響として、最も適切な説明を選びなさい。 (2014年 沖縄県公立入試 類似)
1. 鉄砲の製造が困難であったため、一部の特権階級のみが儀礼用として保持した。                      2. 外国との交易が危険視されたため、すぐに鉄砲の使用や製造が全面的に禁止された。                      3. 集団戦法が主流となり、強力な火力から守るための堅固な城が築かれるようになった。                      4. 武士個人の技術がより重視されるようになり、刀や弓矢による一騎打ちが増加した。